

もっと安心農産物 人参(トンネル春どり)栽培暦(令和6年度)

JAちばみどり 海上野菜組合産直部

1. 土づくり
・完熟堆肥、または緑肥を施用し、土づくりを行う。土壌診断を実施し、適正施肥を行う。
2. 施肥 ☆施肥診断にもとづく施肥量の遵守 **化学肥料窒素成分使用量 10kg/10a以下**

	肥料名	施肥量
基肥	①スーパー人参ブリケット(6-8-8 有機態窒素 3.6)	200kg/10a以下
	②エコレット866(8-6-6 有機態窒素4.1)	200kg/10a以下
	③ちばみどり有機888(8-8-8 有機態窒素 1.2)	140kg/10a以下
	苦土石灰(アルカリ分55%)	80kg/10a以下
	苦土重焼燐(0-35-0)	80kg/10a以下
※必要に応じて施用	マルチサポート1号(総合微量要素)	60kg/10a以下
※土壌分析により施肥量を加減する。		

3. 防除 **化学合成農薬 6成分回数まで**
(Zボルドー・スピノース顆粒水和剤・ホリオキシAL水和剤・ゼンターリ顆粒水和剤・ジーファイン水和剤は化学合成農薬に含め

月	管理作業	病害虫の発生推移	薬剤名	希釈 倍数・処理量	回数	対象病害虫	備考 (耕種的防除の実施)
12月上旬	ロータリー	(センチュウ・ネキリムシ) (鱗翅目害虫) 黒葉枯病	①ネマトリンエース粒剤	は種前 15～20kg/10a	1回	ネコブセンチュウ	ネコブセンチュウの多い圃場は作付けを避ける
中旬			②フォース粒剤	は種時 4kg/10a 作条土壌混和	1回	ネキリムシ類	圃場周辺の除草を実施し、雑草・害虫の発生を低減させること。
下旬	施肥			は種前 4～12kg/10a 全面土壌混和			
1月上旬	は種 トンネル被覆						
2月							黒葉枯病防除剤 発生が見られた場合： カスミホルドー 1000倍(収穫7日前・2回) ストロビーフロアブル 2000～3000倍(収穫7日前・3回) ロブラル水和剤 1000倍～1500倍(斑点病対策含む)(収穫14日前・4回)
3月上旬	間引き						
中旬	換気						
下旬	機械除草						
4月上旬	トンネル 除去		③ベルコート水和剤	1000倍 (収穫14日前迄) 500～1000倍 (収穫14日前迄)	5回	菌核病 黒葉枯病	アフラムシ類防除剤 スタークル顆粒水溶剤 2000倍(収穫7日前・2回)
中旬			ゼンターリ顆粒水和剤	1000倍 (収穫前日迄)	—	オオタバコガ	※化学合成農薬に 含まれない農薬 Zボルドー 500倍 ゼンターリ顆粒水和剤 1000倍(収穫前日・—)
下旬			④アフアーム乳剤	2000倍 (収穫前日迄)	3回	ハモグリバエ類	ジーファイン水和剤 うどんこ病750～1000倍 白さび病1000倍 (収穫前日・—)
5月上旬	収穫						ホリオキシAL水和剤 500倍(収穫7日前・5回) スピノース顆粒水和剤 5000倍(収穫3日前・3回)
中旬							
下旬							

☆みんなで守ろう生産基準